

事務事業調書 平成23年度	No 430	課名 清掃事業所	起案者 宮田廣保
事業種別 市民サービス		係名 事業係	決裁者 平岩光
事務事業名 塵芥収集事業		区分 継続	業務一覧No 1, 2, 3, 4, 7, 8, 9, 10, 11
			他係名
			他係業務一覧No

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり	予算科目(会計)	一般会計
	2 資源循環	予算科目(款・項・目)	20-10-10
	1 ごみ	総合計画以外の計画	
	9 上記施策以外の施策	関連する総合計画の施策	
9 上記施策以外の施策		法定受託事務	無
性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	有 安城市廃棄物の減量と適正処理に関する条例第4条		
実施方法	一部委託	委託先	民間企業
実施期間	開始 平成元年度	経過 22年目	終了 期間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	市民が	~になる	ごみの分別排出ができるようになる。
事務事業の内容	日常生活から出るごみ(可燃・不燃・容器包装プラごみ・資源ごみ)を回収します。			
事務事業進捗状況	可燃ごみ28,291t、不燃ごみ1,019t、容器包装プラごみ1,311t、缶331t、びん1,287t、ペットボトル301t、粗大ごみ2,148t、乾電池24tを回収、一部資源化を実施しました。			
改善・対策の履歴	ペットボトルの資源化に当り、従来無償処分していたが平成18年度より売却を開始しました。また、平成20年度に全体把握ができなかったごみステーションの数や所在をデータ化し、市民からの問い合わせや町内会からの新設・変更協議に対して速やかに対応できるようにしました。			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	
総事業費 f=a+d+e	700,194	683,272	692,278	662,384	625,144	600,797	641,908	
財源計 a	462,095	445,173	454,179	424,285	427,105	403,511	446,128	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	17,661	
	市債	0	0	0	0	0	0	
	その他()	2,908	2,940	2,908	2,908	3,076	2,681	2,436
	一般財源	459,187	442,233	451,271	421,377	424,029	400,830	426,031
受益者負担金	0	2,940	2,908	2,908	3,076	2,681	2,436	
職員人件費 d	238,099	238,099	238,099	238,099	198,039	197,286	195,780	
内訳 従事職員数	31.62	31.62	31.62	31.62	26.30	26.20	26.00	
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0	

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名(活動内容)	塵芥(可燃・不燃・容器包装プラ)収集業務	見込(単位)	35,000.00	35,000.00	29,000.00	30,170.00
				実績b(単位)	33,280.00	31,738.00	30,621.00	
		指標名(単位)	回収量(トン)	活動の総事業費f 実績	408,658	408,268	365,295	
				単位コストg=f÷b 実績	12.28	12.86	11.93	
	活動②	活動名(活動内容)	塵芥(缶・びん・ペットボトル等)収集業務	見込(単位)	2,800.00	2,800.00	2,280.00	2,230.00
				実績b(単位)	2,312.00	2,260.00	1,919.00	
		指標名(単位)	回収量(トン)	活動の総事業費f 実績	265,293	246,559	225,547	
				単位コストg=f÷b 実績	114.75	109.10	117.51	
	活動③	活動名(活動内容)	乾電池・蛍光管処分業務	見込(単位)	80.00	80.00	80.00	80.00
				実績b(単位)	77.00	72.00	73.00	
		指標名(単位)	処分量(トン)	活動の総事業費f 実績	9,321	7,557	7,066	
				単位コストg=f÷b 実績	121.05	104.95	96.67	

5(1) 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	容器包装プラスチックごみの資源化率(%)	見込(単位)	95.00	95.00	95.00	95.00
			実績(単位)	91.00	90.00	91.00	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	
			目標成果指標値	0.00	目標達成年度		
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)				
			実績(単位)				
			達成状況				
		目標成果指標値	目標達成年度				

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	町総ぐるみでごみ出し改善の取組みを行う町内会が出てきたこと等、ごみ行政に対する理解・協力が地域町内会や組織レベルで得られました。	

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	多くの市民がごみ減量について理解・協力してくれたことにより、ごみが少しずつ減ってきています。また市では資源ごみの活用やリサイクルをより徹底し、資源ごみ売却による市の収入を増やしたことにより、市の一般財源からの経費を削減しました。
	成果1,2	ごみに関する相談等ある場合は、現地へ赴き、対話形式で対応しました。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	町内会組織との連絡を密にし、問題あるごみステーションの解消を進めます。	

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	現状の対処方法を継続し、停滞のないごみ処理を目指します。